

心に残る文化財子ども塾 雲南市立海潮小学校

1. 活動の概要

6月17日(金)、雲南市立海潮小学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センターの職員から、雲南市や小学校周辺に遺跡がどれだけあるのか、どんな遺跡があるのか話を聞きました。スクリーンに遺跡の位置を示した地図や写真を見ながら学習しました。海潮地区には縄文時代から古代の集落跡や中世以降のたたら跡があります。また、学校の裏山も山城跡です。海潮小学校周辺では発掘調査例がないため、今回は、松江尾道線建設に伴って発掘された雲南市加茂町の土井砂遺跡の古墳時代の遺物についての現物を見ながら説明を受け、当時の人々の暮らしや道具について学びました。

次に、勾玉について、説明を受けました。周辺の松江市の玉造地区や忌部地区、大東高校のグラウンドにも玉作遺跡があることを聞くと、児童たちはびっくりしていました。続けて、勾玉の作り方の説明を受けて、勾玉作りに挑戦しました。作業は思ったより難しく、思うような形に整えるのに児童達は苦勞していました。予定の終了時間が迫る中、体に削りかすをつけながら勾玉の形にし、最後まで熱心に勾玉づくりに取り組むことができました。

最後に、勾玉づくりの難しさを実感しながら、みんな、笑顔で写真を撮りました。

授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史や身近にある遺跡への興味が高まった様子でした。

2. 活動の様子

1) 周辺の遺跡について学ぶ



古代の人はこんな食器を使っていた!!

2) 遺物について学ぶ



きれいな勾玉!!

2) 古代体験活動～勾玉作り～



まずは勾玉の形を下書きします。大きさはこれくらいかな?



削ったり、磨いたり、なかなか思った形にならないな。

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・雲南市にある遺跡についてもっと知りたい。
- ・勾玉づくりは簡単ではなく、とても時間がかかることがわかった。昔の人と同じことができてよかった。
- ・古代の人と同じ風景を見られていることはすごいと思いました。
- ・大東高校にも遺跡があったことに驚きました。
- ・もっと勾玉や別の玉を作ってみたい。
- ・『出雲国風土記』を読んでみたい。
- ・昔の人が勾玉にする石をさがすのにどれぐらい時間がかかったか知りたい。
- ・学校の近くにある山城のことが心に残った。
- ・学校の周りにもっと古墳など遺跡があるか調べたい。

2)担任の先生から…

- ・地域の歴史に興味を持つことができ、遺跡を身近に感じる事ができた。
- ・勾玉づくりの体験は児童を引き付けるよい題材でした。
- ・本物の遺物を見ると児童の目の輝きが違いました。
- ・地元の遺跡の資料があると関心が高まると思いました。

3)埋文センターから

普段の授業では自分たちの住む地域の歴史について知る機会は少ないと思います。今回の出前授業で、住んでいる地域には、遺跡がたくさんあることを知り、地域や歴史に対する興味や意欲が高まった様子がアンケート結果からも伝わってきました。

また、勾玉づくり体験では、勾玉の形に仕上げる作業が難しかったのですが、児童たちは最後まで集中して取り組んでいました。簡単そうに見えてかなり時間がかかる難易度の高い作業でしたが、体験をとおして古代人の技術や苦労などに思いをはせている様子でした。

これからも自分で調べたり大人に聞いたりしながら、自分達の住む地域の歴史に関心や誇りを持ち続けてほしいと思います。